

令和5年度 第2回江南市健康づくり推進協議会 会議録

開催日時 令和5年11月9日(木) 午前10時～

場 所 江南市保健センター グループ指導室A

出席者 出席委員 12名

長谷川 真子 (学識経験者)	高田 明昇 (医療関係者)
加藤 眞司 (医療関係者)	日比野 忍 (保健関係者)
櫻澤 弘章 (関係機関代表者)	山田 尚代 (関係機関代表者)
久村 幸則 (関係機関代表者)	久末 史帆 (関係機関代表者)
前川 晶 (関係機関代表者)	森 順子 (関係機関代表者)
伊藤 真弓 (市民代表)	中野 裕二 (市議会議員)

欠席委員 5名

武田 篤司 (福祉関係者)	内藤 龍雄 (医療関係者)
佐々木 洋治 (関係機関代表者)	小栗 幸代 (関係機関代表者)
深尾 俊一 (市民代表)	

事務局 健康福祉部長
健康づくり課、福祉課

傍聴人数 なし

1. 会議次第

<会長あいさつ>

<協議事項>

1. 第3次健康日本21 こうなん計画及び第2次江南市自殺対策計画素案について
2. その他

2. 会議経過

	<p>【あいさつ】 会長あいさつ</p>
	<p>【協議事項1 第3次健康日本21 こうなん計画及び第2次江南市自殺対策計画素案について】</p>
事務局	<p>(資料1に基づき説明)</p>
委員	<p>江南市自殺対策計画案の92ページの真ん中、「三階層自殺対策連動モデル」について、どういうものか教えてください。</p>
事務局	<p>三階層自殺対策連動モデルとは、市民の方の暮らしの場を原点とした上で、様々な分野の対人支援を強化すること、そして対人支援の強化等に必要な地域連携を促進すること、また、地域連携の促進等に必要な社会制度を整備すること、この3つを一体的なものとして取り組むことを三階層自殺対策連動モデルといいます。</p> <p>確かに分かりづらいかもしれませんが、注釈など、用語解説の中でわかるように対応させていただきたいと思います。</p>
委員	<p>歯科健診の受診率について、アンケートでは50%以上ですが21ページでは12~13%程度となっています。これが実際の正しい数字だと思いますが、その辺を計画でどう考えていきますか。</p> <p>それから、健診を毎年受けるという目標がありますが、歯科は今のところ節目歯科健診として5年に1回、市からの案内がありますが、積極的な案内はありません。そこを今後どう取り組むか、市の課題として考えていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>歯科健診についてご意見をいただきました。この計画書には具体的な取り組みまでは記載していませんが、歯科健診やがん検診などの受診率を高めていくことは、市として市民の健康を維持していく上で重要な課題と思っています。</p> <p>歯科健診については、20代から30代の若年層の方の節目歯科健診など、これから8020を目指す方に、早期に知識を深めながら歯の健康を維持し長生きにつなげるといった啓発に取り組んでいきたいと考えています。</p>

	<p>また、20代の歯科健診を昨年度からはじめましたが、今後は25歳、30歳、35歳、そういった節目年齢の方に健診を拡充していければといった思いがありますので、この第3次計画の中で、よりよい受診率に繋がるよう事務局として取り組んでいきたいと思ひます。</p>
<p>会 長</p>	<p>歯科については、先ほど高血糖が重点課題にあがっていましたが、お口の健康が改善すると糖尿病も改善するということがあると思ひますので、それも含めてご検討いただければと思ひます。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
<p>委 員</p>	<p>データを通じて、薬剤師会で表立って出てくるようなところは特にはないのですが、最近の薬剤師会の取組を紹介させていただくと、特定健診の保健指導を積極的にやっていたらということで、取組を始めています。それによって、併用薬の重複の減少やふらつきなどの問題の改善にもつながっていると思ひます。あと、運動のきっかけを作る取組もしています。このような取組をしていることを知っていただけたらと思ひます。あと、自殺対策のところ、ゲートキーパーの養成については、10数年前から年に3～4回程度、講習会をやっています。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>薬剤師会の方には、調剤薬局において、お子様からお年寄りまで相談を受けられている状況の中で、「かかりつけ医を持ちましょう」「かかりつけ歯科医師を持ちましょう」と同様に、「かかりつけの薬剤師を持ちましょう」ということが、今の国の考え方です。そういったところの普及啓発について、地域に身近な薬剤師のなどを相談する方がいるかないかで、健康増進や自殺対策などにも関連性はあると思ひますので、そういったところを計画の中でお示しできればと思ひます。</p>
<p>委 員</p>	<p>計画案の提案がありましたが、今回の2次計画、3次計画で追加や改善された内容がありますか。6ページを見ると、世帯の年齢構成が変わり高齢者は増え、以前よりも75歳以上の方が増えてきているのですが、やっていることは変わっていないように感じます。年齢構成も変わっていますので、取組を変えていく必要はないのかなと思ひます。計画を作ることが目的ではなく、健康増進を図ることが目的だと思ひますので、計画の中身の実効性とか具体性をもっとブラッシュアップしていく必要があると思ひますがどうでしょうか。</p>

<p>事 務 局</p>	<p>ご意見ありがとうございます。2次計画の大きな目標は、市民の健康寿命の延伸でございました。健康寿命は延びていますが、残念ながら、達成できていない目標指標が多くあります。これは江南市だけではなく、県も国も同様の状況ではあります。そういった中で、江南市として、より健康寿命を延ばすための方策、重点施策として「こうなんスリーアクション」という形で、57ページに掲載いたしました。「毎日野菜を食べましょう」「10分多く体を動かしましょう」「年1回検診を受けましょう」といったところの取組です。これらは、当たり前のことなのですが、当たり前のことが日常生活の中でできていない、というのが今の状況です。そういった中で、無理な行動目標をたてると長続きしないので、無理なく、簡単に取り組めるところからやっていただくという思いもあり、このような設定をさせていただきました。</p> <p>それから、がん検診などの受診率は、国が示しているような60%、90%、を実現しようとする、これは行政だけの力ではなくて、三師会や医療機関の皆さんと検診機能の充実を進める必要があります。現実的な問題ではありますが、そういった中で、検診の結果で要精密検査などの必要性がある方については、こちらから積極的にアプローチして適切な医療につなげていき、健康増進につなげたいと思っています。</p> <p>それから、高齢者の低栄養の問題ですが、独居高齢者や高齢者世帯では給食サービスを利用している家庭もあると思います。給食サービスで栄養を配慮した給食が配膳されているから、適切に維持ができているかということ、歯がない高齢者の中には噛むこと自体がもう億劫になり、食べやすいものは食べ、食べにくいものは残して捨てているということもあり、きちんと食べているかを確認していくことも大切だと考えています。そういった取組と、地域の実態の現状をしっかりと把握しながら、計画の中で進めていければと思っています。</p>
<p>会 長</p>	<p>健診のことで少し気になることがあります。17ページをご覧ください。各がん検診の受診率の推移が掲載されています。73ページにはがん検診の目標値が記載されています。お話のあった、国の目標値60%は、行政のがん検診の目標値ではなかったはずだと思います。国民生活基礎調査という、全国的な抽出調査の調査結果による目標値なので、実態とは乖離があると思います。17ページは行政だけの受診率で比較していて、73ページになると民間も含めたがん検診の受診率を指標とするという点は違和感を覚えました。</p>

事務局	<p>ありがとうございます。事務局の方で整理をさせていただきます。</p>
委員	<p>自殺対策計画について、多くは精神疾患やメンタルヘルスの問題を抱えている方が多いという報告もありますが、実際には治療につながる前に自殺をされてしまう方が多いのが現状です。ゲートキーパーの養成や相談体制の機構改革の話など、重要だと思って聞いていました。</p> <p>また若年層の自殺に関しましては、江南市では多くないというお話でしたが、現場レベルの印象としては、おそらく既遂者は多くないのかもしれませんが、未遂者のご相談が非常に、特にこのコロナ禍になってからは増えているなという印象です。具体的には、救急病院である、例えば江南厚生病院さんなどでは、自傷とかで搬送された後にご相談が入るというケースも非常に増えている印象があります。教育関係では、家庭環境の問題、人間関係の問題、発達の問題など、いろいろな問題を抱えている人も多いので、ゲートキーパーなどを充実させてほしいと思います。</p> <p>それから、95ページの「生きることの促進要因への支援」のところ、概要はわかるのですが、漠然としているので具体的なイメージを教えてくださいたいです。相談支援体制の充実というところがメインかなと思います。生きることの促進要因を推進することの具体的なイメージを教えてくださいたいと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。重点パッケージには入っていませんが、前は若年者も重点に入っていましたので、重点ではありませんが取り組んでいきたいと思っています。先ほども少し申し上げましたが、学校長さんとのつながりをもって、昨年度「こころの体温計」を各ホームページに取り入れていただけたのも成果かなと考えています。</p> <p>それから、「生きることの促進要因への支援」が少しわかりづらいという話をいただきました。そもそも自殺が、どういった理由でというところが人によって千差万別です。私も相談を受ける中で、本当にいろんなパターンがあるなと感じています。これをやれば対応できるというものが無いのが課題かと思っています。ですので、障害だとか、生活困窮だとか、そういった分野にとらわれない相談窓口というものがいいかなと考えています。どのような悩みであったとしても、まずは寄り添える体制が必要であると考えています。</p>
委員	<p>私は日々、笑いヨガの講師をしているのですが、今のところと関連する</p>

	<p>と思ってお話をさせていただきます。高齢の方と日々接していると、やはり居場所が必要かなということをおもいます。昨日、いきなり泣き出してしまった方がいました。教室には女性の方が多いので、実は息子さんとの不和というのをよく感じています。そこで私のところに来ていただいた方はお話を聞きすることができるのですが、そうでない方、社会的なつながりが少ない方はどうしたらいいのかなとおもいます。自分の心の内を吐き出してストレス値を下げるということです。私がやっていますのは、自己肯定感を上げることと、ストレス値を下げるということをやっているのですが、いわゆる「おしゃべりカフェ」みたいな行政の取組は、今どきのようになっているのか質問したいとおもいます。それと、おしゃべりカフェの実態がどうなっているのか、たとえば若年層の方、高齢者の方、それから今回は男性だけとか、そういったように様々な方に対しておしゃべりカフェがあるといいなということをおもっています。ただし、ただ来て、お茶でも飲んで、おしゃべりしてくださいといっても、それでは皆さん話せないのでは、司会者が必要だとおもいます。そういった状況はいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。居場所づくりや地域との関係についてですが、自殺対策に限らず、これからは地域との連携が非常に重要だと考えています。先ほど地域ふくし課を創設するという話をしましたが、これは相談支援として様々な相談にのるという機能と、もう1つ、地域づくりというところも捉えています。具体的には、中核組織は社会福祉協議会になりますが、そこと連携を取りながら各地域に入り込んで、高齢者のサロンの話だとか、そういったところに支援をして、協議会の立ちあげなどについても、これから取り組んでいきたいとおもっています。すでに協議会が立ち上がっている地域もありますが、すべてではないので、拡充していきたいと考えています。</p> <p>また、お話しができる場としては、すでにやっているところがあります。病気があったりだとか、悩んでいたりと、そういった方が多いものになりますが、ざっくばらんに話ができるような場の提供にすでに取り組んでいますので、そういったPRも地域づくりの一環だと思っておりますので、引き続きやっていきたいとおもいます。またその地域づくりというのは、市民だけではなく、医療機関の方や地域包括支援センターの方など、様々な関係機関を含めて地域づくりだと考えています。</p>
委員	<p>質問ですが、何ページかにわたって目標値がありますが、その対象が小</p>

事務局	<p>学校6年生と中学校3年生になっています。これは、全国学習状況調査によるものでしょうか。</p> <p>江南市で実施した市民アンケートが第1次計画の際から小学校6年生と中学校3年生で行っていますので、比較することを考えて同じ対象へアンケートを実施して数値を出しています。</p>
委員	<p>どのようにアンケートをとられたのかわからないですが、おそらく、毎日登校している子にとったとなると、実態とは異なる結果になると思います。60ページの朝食を欠食する人の減少や62ページの運動やスポーツを習慣的に行っていないこどもの減少など、数値が変わってくることもあると思います。不登校の児童生徒は学校の1割から2割いますので、その子たちも含めると変わる可能性があるのではないのでしょうか。紙で実施する方法だと、全員に回答してもらうのが難しいこともあると思いますので、今、子どもたちは1人1台、Chromebookというパソコンを持って日々それを使って学習しています。アンケートを取るにあたって、グーグルフォームを使えば不登校の子も回答でき、より正確なアンケートができるのではないかと思います。</p> <p>もう1点、96ページのSOSの出し方に関する教育のところですが、取組の方向性に、「いじめ」に関する対応の強化という項目があります。今、不登校についても、とても深刻な状態なので、例えば「いじめ」の後に「不登校」という文字をいれていただけるといいのかなと少し思いました。またご検討ください。</p>
事務局	<p>小中学校へのアンケートの実施方法につきましては、事前に教育委員会及び校長会を通して実施をしています。不登校の児童・生徒も含めて実施することで、より精度の高い結果が出るといったご提案をいただきましたので、今後実施する際には、そういったところも検討していきたいと思います。</p> <p>96ページに不登校という文字を追加するというご提案につきましては、教育委員会にも確認をさせていただきながら、追記を検討させていただきます。</p>
会長	<p>10ページですが、健康寿命の推移が市だけが掲載されていますが、あえて、愛知県と国を省いたのでしょうか。</p>

事務局	特に理由はないので、掲載するようにしていきたいと思います。
委員長	市老連としての行事は、ある程度全体を集約しないといけないのですが、各単位クラブは、保健センターや包括支援センター等のご協力もいただきながら、いろいろな活動をしています。音楽祭とかいろいろやっています、予算を少し増額してもらえればと思っています。卓球をやったり、皆さんいきいきとして、楽しいと言っています。参加されていない方も参加していただき、精神面、体力面をアップしていきたいと思っています。また保健センター、包括支援センターのご協力をお願いすると思いますが、よろしくお願いします。
事務局	ありがとうございました。市老連さんの活動や取組について、計画の中で、例えば45ページを見ていただきますと、行政の取り組みに記載しているグランドゴルフ大会などがありますが、本来は市民の取り組みではないかというご意見をいただいているところです。今、現在の活動や、行事をもっと倍増していきたいこと、参加者数が50人前後であるところをもっと増やしていきたいことなどを伺いましたので、この市民の取り組みのところに今後設定できるよう検討したいと思います。また、それぞれのサロン活動と、あと保健センターが実施している取組の中で交流をより深めながら、地域の方に1人でも多く参加していただいて、健康増進に繋がるよう地域全体、社会全体で進めていきたいと思っています。
会長	もう1点よろしいでしょうか。50ページの誰一人取り残さない健康づくりの記載の2行目に、「健康行動がとられていない無関心層へのアプローチ」とあります。実は、無関心層の方に健康行動をとってもらうためには、まず関心を持ってもらい、関心を持ったから準備があって、やっと実行となるわけです。健康のために行動をとってもらう必要があるのですが、無関心層にアプローチをして関心を持ってもらうだけでは何も反映しないと思います。例えばがん検診や歯科健診も、関心はあるが行かないという人が大半です。そう考えると、記載方法を健康行動をとられていない人へのアプローチなどとされたらいいのではないのでしょうか。56ページにも同様の記載がありますので、あわせて検討していただければと思います。
事務局	無関心層の考え方、もう一度見直し表現を検討したいと思います。

委員	<p>いろいろなご意見がありますが、PR活動を重点に置いていただけたらよいのではないかと思います。行動されてない方へのアプローチが大事だと思います。例えばこんな健康への取組がありすごくいいなと思ったり、いいなと思われるような情報が提供されても、利用の仕方がわからないということがあるので、もっといいPRの仕方があるのではないかと思います。普段は健康のことを考える余地がない方でも、健康のことを考えざるをえないというような広報ができるとよいと思います。</p>
事務局	<p>市民の活動団体の方からご意見、ご提言をいただく中で、行政のPRが下手だということがよく言われます。江南市には、小さいお子様からお年寄りまで含めて、ターゲットを絞って市民活動を行っている皆さんが多くいらっしゃいます。そういった地域の方が活動される場所で市の事業をPRするとか、そういった展開を通じて市民の健康増進に繋がればと思いますので、機会をとらえて連携して取り組みたいと思います。</p>
会長	<p>多くのご意見、ご質問、ありがとうございました。</p>
事務局	<p>【協議事項2 その他】</p> <p>2点お願いいたします。1点目ですが、今後のスケジュールについて簡単に説明させていただきます。本日、健康づくり推進協議会の第2回を開催させていただきました。この後、本日の意見をもとに計画案を修正し、11月28日火曜日に市幹部の政策会議にかけていきます。その後、12月定例会の厚生文教委員協議会にて説明をまいります。その後、12月22日金曜日から1月22日月曜日までパブリックコメントを実施し、市民の皆さんの意見を聞いて参ります。パブリックコメント終了後、2月中旬頃になるかと思えますけれども、第3回の健康づくり推進協議会を開催させていただきます。日時、場所につきましては後日通知させていただきます。大変お忙しいところとは存じますが、ご出席いただきますようよろしくお願いいたします。</p> <p>それから2点目ですが、本日お車でお越しいただいた方に、駐車場のサービス券のQRコードをお渡しさせていただきましたので、大変お手数ですが、お帰り際には精算処理をお忘れにならないようお願いいたします。</p>

会 長	<p>いたします。 事務局からは以上となります。</p> <p>本日予定していました議事はすべて終了いたしました。 議事進行にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。 これをもちまして、第2回江南市健康づくり推進協議会を終了いたします。</p>
-----	---